

《貸借対照表》

貸借対照表は、当該会計年度末（3月31日）における財産状態（資産、負債、純資産の状況）を表します。

貸 借 対 照 表

令和4年3月31日

(単位 円)

資産の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定資産	3,425,108,389	2,964,409,055	460,699,334
有形固定資産	3,326,081,168	2,869,370,068	456,711,100
土地	642,229,652	642,229,652	0
建物	1,706,330,484	1,755,792,081	△ 49,461,597
構築物	22,721,977	23,709,889	△ 987,912
教育研究用機器備品	659,215,080	216,770,768	442,444,312
管理用機器備品	39,549,999	11,339,053	28,210,946
図書	245,918,376	206,218,625	39,699,751
車両	10,115,600	13,310,000	△ 3,194,400
特定資産	0	0	0
その他の固定資産	99,027,221	95,038,987	3,988,234
電話加入権	2,024,904	2,024,904	0
ソフトウェア	34,731,309	30,743,075	3,988,234
出資金	2,050,000	2,050,000	0
収益事業元入金	60,221,008	60,221,008	0
流動資産	2,787,200,974	2,521,836,904	265,364,070
現金預金	2,691,083,541	2,431,619,271	259,464,270
未収入金	35,781,682	37,204,138	△ 1,422,456
貯蔵品	2,909,542	222,134	2,687,408
仮払金	200,600	66,600	134,000
立替金	18,000	99,946	△ 81,946
前払金	57,207,609	52,624,815	4,582,794
資産の部合計	6,212,309,363	5,486,245,959	726,063,404

負債の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定負債	311,646,166	227,612,058	84,034,108
長期借入金	78,660,000	0	78,660,000
退職給与引当金	196,865,318	172,392,034	24,473,284
長期未払金	36,120,848	55,220,024	△ 19,099,176
流動負債	1,868,947,454	1,473,668,775	395,278,679
短期借入金	21,340,000	0	21,340,000
未払金	194,005,804	104,182,255	89,823,549
前受金	1,501,412,100	1,271,025,000	230,387,100
仮受金	300,000	1,060,000	△ 760,000
預り金	151,889,550	97,401,520	54,488,030
負債の部合計	2,180,593,620	1,701,280,833	479,312,787
純資産の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
基本金	5,662,602,447	5,191,717,988	470,884,459
第1号基本金	5,529,602,447	5,088,717,988	440,884,459
第4号基本金	133,000,000	103,000,000	30,000,000
繰越収支差額	△ 1,630,886,704	△ 1,406,752,862	△ 224,133,842
翌年度繰越収支差額	△ 1,630,886,704	△ 1,406,752,862	△ 224,133,842
純資産の部合計	4,031,715,743	3,784,965,126	246,750,617
負債及び純資産の部合計	6,212,309,363	5,486,245,959	726,063,404

I 資産の部

資産の部は、前年度末対比 726,063,404 円増加の 6,212,309,363 円となった。

主な要因は以下のとおりである。

1 固定資産

(1) 有形固定資産においては、建物 49,461,597 円の減少があった。

教育研究用機器備品は、442,444,312 円増加の 659,215,080 円であった。

管理用機器備品は、28,210,946 円増の 39,549,999 円であった。

図書は、39,699,751 円増加の 245,918,376 円であった。

以上により、有形固定資産の部合計は、前年度末対比 456,711,100 円増加の 3,326,081,168 円となった。

(2) その他の固定資産は、前年度末対比 3,988,234 円増加の 99,027,221 円であった。

主な要因は、ソフトウェアが 3,988,234 円増加したことによる。

この結果、固定資産全体では、前年度末対比 460,699,334 円増加の 3,425,108,389 円となった。

2 流動資産

現金預金は、前年度末対比 259,464,270 円増加の 2,691,083,541 円となった。

未収入金は、前年度末対比 1,422,456 円減の 35,781,682 円となった。

II 負債の部

負債の部は、前年度末対比 479,312,787 円増加の 2,180,593,620 円となった。主な要因は以下のとおりである。

(1) 固定負債では、長期借入金が 78,660,000 円、退職給与引当金が 24,473,284 円の増加となり、前年度末対比 84,034,108 円増加の 311,646,166 円であった。

(2) 流動負債では、短期借入金 21,340,000 円、未払金 89,823,549 円、前受金 230,387,100 円、預り金 54,488,030 円の増加となり、前年度末対比 395,278,679 円増加の 1,868,947,454 円であった。

III 純資産の部

純資産の部では、第 1 号基本金において、総額 440,884,459 円増加の 5,529,602,447 円を計上しており、合計は当該会計年度末 6,212,309,363 円となった。